フォレスト熊本広報誌

やすらぎの森

contents

2 高齢者の病気
教育プログラム
3 新入職員紹介
4 新サークルのご紹介
5 フォレスト写真館－フォレスト熊本

夏号
2017.7

Vol.66

総合ケアサービス部長就任1年を迎えて

総合ケアサービス部長 坂本康子

未曾有の熊本地震から早いもので1年3ヶ月が経過しました。少しずつ日常を取り戻しながらも、未だ仮設住宅での生活を余儀なくされておられる方々や倒壊した家の片づけもままならない等、まだまだ復旧・復興の道のりは長いと感じております。

昨年3月総合ケア部長に就任して間もなく、熊本地震が発生しました。当施設は幸い入所者の部屋には問題なく、水も電気も使える状況でしたので、翌日から夜間のみ1階フロアーを地域の方々へ開放し、一方では家に帰れないスタッフの部屋の準備や食事の手配、さらには保育所が休みの為子供同伴での出勤を可能とし、臨時託児所を設けました。託児所は職員のご家族の協力と学生ボランティアさんの協力のもと大型連休が終わる7日まで(1日平均8.6名、最高12名)続けることができました。

6月には各階で例年通り運動会を開催しました。印象に残っているのは、職員手作りの石垣と熊本城をご利用者と一緒に積み上げて完成させた場面です。音楽と復興への思いが重なり皆で感動しました。また療養棟もご家族参加の楽しく一体感のある運動会でした。この一年、いつも来て頂いているボランティアさんに加え、復興支援でも多くのボランティアさんに来て頂き、様々な機会を通し「元気」と「勇気」を頂きました。

さらに昨年は老健の役割である在宅復帰支援と共に、8名の方を看取りました。ご利用者やご家族としっかり向き合い最期を共に看取ることで自然な死を受容することの大切さを皆で学んでいるように感じます。

また、今年度は認知症への理解と予防をテーマに施設内カフェをご家族対象に実施いたします。ぜひ皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

フォレスト熊本は来年1月19日をもちまして開設20周年を迎えます。多くのボランティアの皆様に支えられ、またご利用者とそのご家族や地域の皆様にも支えられ、フォレスト熊本理念「わたしたちは、高齢者が充実した人生を継続していただけるように、全力を尽くします」を掲げ、スタッフ一丸となりここまでたどり着くことができました。私もその歴史あるフォレスト熊本のさらなる発展に寄与できるよう精進して参ります。

最後に来年は診療報酬・介護報酬の同時改定です。地域包括ケアシステムが深化する中、老健施設には本来の中間施設としての役割が求められています。地域の医療・介護のハブとして地域の皆様から頼りにされ、求められる施設であり続けることを目ざしていきたいと思っております。

どうぞ、これからもフォレスト熊本をよろしくお願い申し上げます。

高齢者の病気

今回、特に夏場に気を付けたい「食中毒」「熱中症」について挙げました。

【食中毒】

梅雨時期から夏にかけて暑くて湿気の多い季節は、食中毒の原因となる細菌の繁殖が活発になり、食中毒に注意が必要です。

症状は、腹痛・下痢・嘔吐で、重症化すると「死」に至るケースもあるため早めの受診が必要です。

下痢・嘔吐が続けば体内の水分が失われていきますので脱水症状を起こさないように、水分の補給を充分に行うことが大切です。

食中毒予防の3原則は、①「つけない」②「増やさない」③「やっつける」です。

①手洗いは流水の下で、石鹸を使って十分に洗い流します。洗い残しが無いようにしっかりと流します。

②食品は新鮮な物を使いきれる量だけ購入する。保存は冷蔵庫へ入れる。調理時には十分加熱し、残った物は冷まして冷蔵庫へ入れる。

③菌に負けない体力作りも大事です。

【熱中症】

室温や気温が高い中で運動や作業をすると、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調整機能が働かなくなり発症します。

特に、高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下していて、暑さに対する調整機能も低下しています。

症状は、体温上昇・めまい・頭痛・嘔気・体がだるい・痙攣・意識の異常などです。

予防方法として、喉が乾かなくてもこまめな水分補給、エアコン・扇風機を上手に利用する、部屋の風通しを良くする、外出時には日傘や帽子を使用する、涼しい場所・施設を利用する等々が挙げられます。また、バランスのとれた食事も大切です。

水分の補給は、普通の水・お茶だけではなく塩分・糖分も必要となりますのでスポーツドリンクを活用するのも良いです。最近では、脱水予防専用の飲料水も市販されています。

平成29年度フォレスト熊本　現認研修専門コース1

認知症介護プロフェッショナルコース

教育プログラム

【専門コース　認知症介護プロフェッショナルコース】は2年間かけてスタッフを育成しています。まず1年目では、認知症の基本的知識の習得とパーソン・センタード・ケアを正しく理解し、自身の日々のケアを振り返り修正できる人材育成を目指しています。2年目では、パーソン・センタード・ケアに基づき、日常のケア場面で認知症高齢者の行動を分析し行動計画を立案後、チームメンバーで共有する為の主体的な役割を担うことが出来る人材育成を目指しています。

カリキュラムは、認知症ケアの理念でもある『パーソン・センタード・ケア』を一貫して学べる構成になっています。

また、受講者には『熊本県認知症介護実践研修』等、外部研修への参加でより専門的な知識の習得と情報収集をする様に位置付けています。

今後増加していく認知症の方々に対して、尊厳を持ったケアを提供出来るスタッフが増え、安心して当施設を御利用して頂ける様に精進していきたいと思います。

総合ケアサービス部　療養棟科長　髙木　啓司

新入職員紹介

NEW FACE

Q1. 似ていると言われる芸能人
Q2. 趣味・特技
Q3. この職業を選んだきっかけ
Q4. 抱負

神原梨絵
療養棟2階

Q1. ガチャピン（眠そうな瞼が…。）
Q2. 色んな入浴剤でお風呂を楽しむ事。（妄想に浸ること・・・。）
Q3. 病気持ち家系なので、子供心に自分が看護師になって病気を治してあげたいと思ったから。（小学校のタイムカプセルの文集にも書いてあった。）
Q4. 天然系なので、ボーッとしたところがありますが、自分の知っている知識をフル活用して一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

坂本祐実
療養棟2階

Q1. ブルゾンちえみ
Q2. AAAのグッズ集め、食品サンプル作り、カラオケに行く事。
Q3. 祖父や祖母に恩返しをしたかったために、この職業を選びました。
Q4. 利用者様に寄り添ったケアを提供できるように、一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします。

山口真由美
リハビリテーション科

Q1. 中嶋朋子
Q2. 昔はパン作り、ギター、ダイビング。今は子育て。
Q3. 人と話すことが好きで、医療系に進みたかった為。
Q4. 久しぶりの熊本での生活、久しぶりの杏仁会、初めての老健…初心に戻って頑張ります!!

山口裕平
リハビリテーション科

Q1. 西武の秋山翔梧選手
Q2. サッカー、身体を動かすこと。
Q3. 中学生の頃にけがをした時にリハビリをして下さった理学療法士の先生に憧れて。
Q4. 以前アルバイトをしていた頃の自分に負けないよう、気持ちを新たに笑顔で精一杯頑張ります。

筒井祐貴
リハビリテーション科

Q1. 藤原竜也
Q2. スポーツ観戦、野球
Q3. スポーツをしていた時に怪我をして、理学療法士の人に治療してもらったことがきっかけで、この職種を選びました。
Q4. 利用者様やスタッフに、少しでも信頼されるように精一杯努力し頑張りたいと思います。

太田達也
通所リハビリ

Q1. 江頭2:50
Q2. ダーツ
Q3. 学生の頃、お年寄りの前で劇をしたのがきっかけです。
Q4. 以前から介護職に従事しておりましたが、初心にかえりステップアップできる様に頑張っていきますので、宜しくお願いします。

藤田拡樹
通所リハビリ

Q1. 「テツandトモ」の青い方（過去に言われたことがある）
Q2. 釣り
Q3. レクリエーションが好きで、高齢者の方々と共に楽しみながら学んでいきたいと思った為。
Q4. 「笑顔」、「元気」、「楽しさ」をご利用者に提供していきます。

さらにワクワクな日常へご案内

新サークルのご紹介

紙芝居カフェ

歴史カフェ

おいしいコーヒーを囲んでの『**お楽しみカフェ 5 種類**』が開催されています。
（火曜日の 9:30～10:30・不定期で 15:30～16:30）

健康麻雀

昔、仕事の合間に徹夜で楽しんでいた方々が、フルに頭を回転させ楽しみながら行われています。「1 時間じゃたりん」が合言葉です。

福祉ワクワク体操

土曜日の午後を中心に『**真美健康体操**』『**福祉ワクワク体操**』が開催されています。「楽しく健康づくり」がテーマです！

サタデーコンサート　月に数回各階でコンサートが開催されています。県内屈指の音楽団体が素敵な音楽を届けに来てくれています。「フォレスト熊本がコンサートホールに早変わり！夢の世界へご案内」

さかいピアノ教室

熊本マンドリン教会

ご利用者の作品

選・総評　松岡妙子 先生

短歌

・物忘れ多くなりたり花の名も　鳥の名もまた　夕焼け小やけ　竹下　富江
・さし伸べしその掌(て)にひとひら桜花　両手に囲うその温もりを　吉川テイ子
・朝(あした)咲き夕べ散りゆく野ボタンの　風に吹かれて揺るる紫　坂本イチ子
・桜咲く根元のめぐりクローバーの　白き花々春は闌(たけなわ)　迎田　友子
・皺ばめる両手を見ればいとおしや　よく働きし遠き日々　正木　恒子
・縁側にさし入る日差し温々し　その陽の中に干す冬布団　隈部スヤ子
・過ぎてゆく春の一日を惜しむごと　花びら散らす桜、さくら　中島　陽子
・構内の楠の若葉陽に映えて　学徒らの目も清やかならむ　山内　春子
・人生は苦あり楽ありさまざまや　九十六歳、今は幸せ　田中　テイ
・耳に清(さや)かやさしき音色のマンドリン　閉じる瞼に古里が見ゆ　岡本　恭明

俳句

・今ひとたび妻帰り来よ花撩乱　高野　和人
・寒椿悲しきまでに艶めきぬ　甲斐紀久子
・紅梅の夕陽になおも輝けり　濱村アヤ子
・地の底の躍動ひしと二月尽　吉川テイ子
・うらうらと春は来にけり地震(ない)の地に　坂本イチ子
・菜の花や乙女ら顕たせ去り難し　堤田冨美子
・小春陽に干しし布団の温とさや　坂本　康子

川柳

・すきま風そおっと胸を通り抜け　村上　洋子
・はじめての短歌教室さわぐ胸　岩正　敬子

講評

早いもので、かの大震災から一年が経ちました。亡くなられた方達に涙し、テレビに写る熊本城の哀れな姿、阿蘇神社の崩壊と、唯々呆然自失の明け暮れでした。が、春には壊された家の空地や亀裂の入った道路に、可憐な草花が咲き乱れ、傷付いた心を癒してくれました。

さて、皆様たちの作品にも、その心模様が良く詠まれていて感心致します。これからも喜びや悲しみを、どんどん詠んで下さい。お待ちしています。

ふぉれすと写真館

1月行事 新年会

職員による絵のパフォーマンス

職員による絵のパフォーマンス（完成）

羽子板対決の一場面

2月行事 節分

仮装したスタッフと記念撮影

鬼は外～

鬼とも仲良し！？

3月行事 ひな祭り

お雛様、お内裏様もかざりました

福笑いで完成したお内裏様

お誕生日娘様との記念撮影

誕生日の素敵な笑顔

4月行事 さくらの花見

花見日和でした

今年も見事に咲いてくれました

気持ちいいですね

介護老人保健施設フォレスト熊本の理念

わたしたちは高齢者が充実した人生を継続していただけるように全力を尽くします。

運営方針

総合的ケアサービス施設です。

1 フォレスト熊本は、利用者の心身の状態あるいは介護者や家族の環境に合わせて、医療的サービスと福祉サービスを総合的、一体的に提供します。

利用者の家庭復帰を目指します。

2 フォレスト熊本は、利用者の意思と人格を尊重すると共に、常に利用者の立場に立って心身の自立を支援し、家庭復帰を目指します。

在宅ケアを支援します。

3 フォレスト熊本は、短期入所（ショートステイ）、通所リハビリ（デイケア）をはじめ、訪問看護、訪問介護など多様な機能を生かし、在宅ケア支援の拠点を目指します。

地域に開かれた施設です。

4 フォレスト熊本は、地域の高齢者ケアに関する社会資源として、地域の高齢者ケアの質の向上に貢献します。

介護老人保健施設　一般財団法人杏仁会
フォレスト熊本（江南病院併設）

◆入所・短期入所（80床）・通所リハビリ（定員100名）

〒862-0970 熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号
TEL.096-363-0101　FAX.096-363-3363
【HP】http://www.kyouninkai.jp/forest/
【Mail】forest@kyouninkai.jp

居宅介護支援事業所	フォレスト熊本	TEL.096-206-0091（直通）
訪問看護ステーション	フォレスト熊本	TEL.096-375-1411（直通）
ホームヘルパーステーション	フォレスト熊本	TEL.096-375-1411（直通）

◆関連病院　くまもと青明病院　熊本内科病院　江南病院
◆熊本市地域包括支援センター　熊本市高齢者支援センター　ささえりあ帯山
◆熊本市障がい者相談支援センター　ウィズ
◆サービス付き高齢者向け住宅　花鏡　◆デイサービスセンター　花鏡
◆ヘルパーステーション　花鏡　◆居宅介護支援事業所　花鏡

編集後記

風清らかな季節をあっという間にかけぬけ、日ごとに暑さが厳しくなる毎日ですが、みなさまはこの季節をどのようにお過ごしでしょうか？

平成29年４月、当施設に新しい仲間が入職しました。

男性４名、女性３名の新人職員です。

全体朝礼の際に全新入職員から一言ずつ挨拶がありました。

みなさん、緊張していたようですが希望とやる気に満ち溢れそれぞれがキラキラ輝いて見えました。これから頼もしい限りです。

私たちも慢心とならないように、この緊張感を大切に笑顔で仕事ができるように心がけながら日々を過ごしていきたいと思います。

今後ともフォレスト熊本、職員一同をよろしくお願い致します。

福田　哲也